

## ～7月11日の木材市場市況～

7月11日(水)に開催された米子木材市場の市況

杉 (4m末口径26cm～30cm) 9,000(m<sup>3</sup>)／平均

ヒノキ (4m末口径16cm～18cm) 15,000(m<sup>3</sup>)／平均

杉は6月より低め、ヒノキは高めになりました。



## 渡辺 健さんの乾椎茸が林野庁長官賞受賞

平成24年6月24日に鳥取県立鳥取産業体育館において第45回全農乾椎茸品評会が開催されました。

日野地区の生産者も多数出品されましたが、日南町からは渡辺 健(つよし)さん(豊栄)が出品された「こうしん中葉厚肉」が林野庁長官賞を受賞され原木乾椎茸栽培技術の高さを全国に示しました。形状・色沢・かさの大きさ・厚さ・品質・採取時期の品評会規格をクリアしての入賞です。JAに問い合わせたところ、この椎茸はすでに販売済みで手に入らないとのことでした。



## 日南町民大学における講話から(「日南の森から地球を動かす」)

再生可能エネルギーからの電気について、コストが高いなら高いなりに電気料金に転嫁しましょう。それは、電気を使う側から払いましょう、という構図で動いています。

資源の乏しい日本の「生きる道」に向かっていくところです。

しかし、エネルギー資源のみならずレアメタルをはじめとする資源を持つ国、成長力旺盛な国、その中で、「日本の生きる道」は？

日南町は、人口流出により、地域力が非常に落ちてきています。

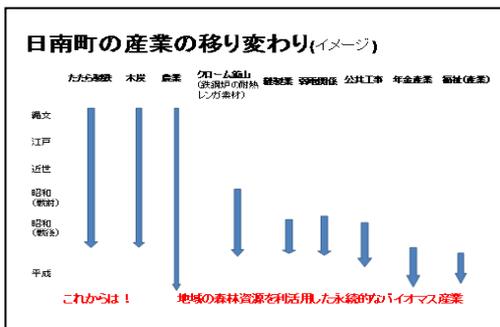
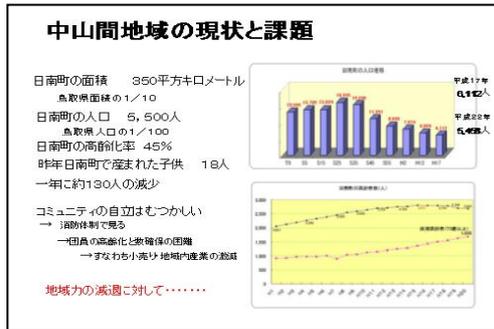
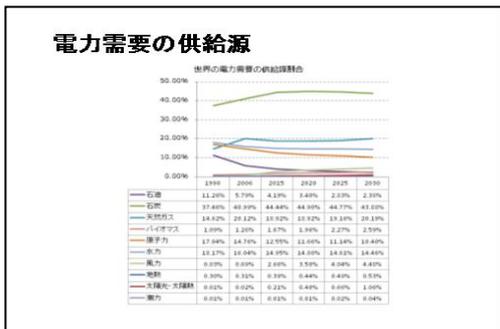
この地域の産業の変遷を見ると(農業は常にこの地域の一つの産業ではありますが)、たたら製鉄、木炭生産、クローム鉱、最近では公共工事などで、「外貨」がこの地域に持ち込まれて、小売業までの地域経済が動いていました。しかし、今は、「外貨」を入れてくる産業がありません。

この日南町の地域がふたたび元気を取り戻すには、資源を持てる地域になることではないでしょうか。

人口流出の要因は雇用の場がなかったことにあります。森林資源を動かすことで、時代にマッチした産業がこの地域に確立するものです。

森林の生み出す地下水資源の保全条例もでき、この地域の資源に光が当たってきています。

一方、多くの山林を取り巻く課題もあり、この解決に向けた動きが必要です。



### 山には課題が山積

林業経営意欲の減退  
林業従事者の高齢化、林業後継者現象  
森林資源の高齢化、若年材齢資源の  
所有者不在村問題  
相続登記不実施  
共有地における相続・行方不明など  
境界不明  
もともと、経営が長期スパン

これらの課題を解決してこそ、持続する森林資源が利用・活用できる